

## 第5回鳥取駅周辺リ・デザイン会議 議事概要

- 1 日 時 令和6年8月20日（火）14時～16時
- 2 場 所 鳥取市役所本庁舎市民交流棟 2階 多目的室1
- 3 議事内容

### 【市長あいさつ】

委員の皆様には、本取組に関する多大なご協力を賜り、改めて感謝を申し上げます。昨年度、全4回の会議を経て、令和6年6月28日に鳥取駅周辺再生基本計画の策定・公表に至ったところである。

全国各地で頻発する地震、災害を踏まえ、本市においても圏域の多くの方が利用する鳥取駅周辺の安全安心の確保が重要となってくる。

本日は、今年度の取組状況や今後の取組の推進体制について、鳥取市はもとより鳥取圏域の発展のため、忌憚のない意見をいただきたい。

### 【議題について事務局から説明】

#### 【議題（1）これまでの取組経過について】

資料により説明（資料P1）

#### 【議題（2）鳥取駅周辺再整備の推進体制について】

資料により説明（資料P2～4まで）

##### ■駅まち空間デザイン検討部会についての考え方（山口部会長の補足説明）

- ・ 今年度は各種調査を予定しているが、市民や事業者の皆様の声を聴きながら、市民の皆様が集いたくなる、誇りを持てる空間にデザインしていく予定である。
- ・ まちづくりとしての空間の軸や、歩行者動線の軸など、駅とまちをどう繋げていくかにも配慮しながら、個別具体の整備コンセプト、規模検討や配置計画に取り組む。
- ・ その過程において、各空間で新たな課題が浮かび上がってくることが予想されるため、市民、利用者、関係者の意見をより深く聞きながら取り組んでいく予定である。

#### 【議題（3）鳥取駅周辺再整備に向けた取組状況について】

資料により説明（資料P5～21まで）

### 【議題についての意見交換】

#### 1. 推進体制について

- ・ 第1回検討部会では、整備コンセプトや空間デザイン案の検討がスタートすることが示されているが、交通事業者としても意見交換の機会を設けながら進めていただきたい。

## 2. 管理運営体制について

- ・ 駅周辺再整備において、PPP/PFI 手法を検討する際には、維持管理にも配慮して、公共施設と収益施設のバンドリングを検討する事が必要。
- ・ 維持管理費の確保として、駐車場の収益は重要であり、駐車場貸しやテナントへの床貸しで得られる収入はファイナンスの観点から検討していく必要がある。
- ・ 今後、マンションやホテルが建設される可能性を踏まえると、駐車場不足の深刻化が懸念される。駅周辺の駐車場容量を把握しつつ、自動運転やライドシェアの駐車ニーズの変化も視野にマルチスペースとしての整備を含めて検討も必要となってくる。
- ・ 収益とは言葉を変えると持続可能性と捉えることができるが、駅が再整備されて一時的に賑わうだけでなく、継続させていくことが重要である。

## 3. 市民意見の反映について

- ・ 鳥取駅を麒麟のまち圏域の中心と考えるのであれば、麒麟のまち圏域の方々からも意見を聞く機会を設けることができれば、より良いものとなると考えられる。

## 4. 多様な関係者等の意見交換の機会

- ・ 空間や歩行者動線の軸などのコンセプトの検討においては、地元で事業を行っている40歳代前後の方々を対象に、まちづくりや事業展開等に関する意見交換の機会があるとよい。
- ・ 商工会議所等においてもまちづくりに関する議論やワークショップの結果を報告書や提言としてまとめているが、連携ができていないことが課題となっている。
- ・ 既存のまちなかの組織等と連携しながら、多様な意見を取り入れていく機会を創出しながら進めていくと良い。

## 5. 周辺道路ネットワークとまちづくりについて

- ・ 駅周辺には主要渋滞箇所も存在し、施設の出入口の配置も道路交通へ大きく影響を与える。駅周辺整備が道路・交通課題の緩和に繋がることを期待している。
- ・ 基本計画では、駅北側を中心に考える傾向があったが、駅南側の施設・空間のデザインも重要であり、それに加えて、道路ネットワークのあり方についても併せて検討してもらいたい。
- ・ 駅からまちなかに繋がる入口部分のデザインが重要であると感じている。太平線にも着目して交通課題等を整理し、商業施設の貨物駐停車による渋滞や混雑など細かな課題にも配慮し、ウォークアブルが促進されるようなデザイン空間の検討をお願いしたい。
- ・ ウォークアブルの観点でいけば、歩行者の日陰づくりも重要だと感じている。
- ・ バード・ハットでのマルシェの取組やグリーンモリス前の歩きやすい歩行者空間整備等の効果を高めていくためには、駅からまちへの動線を繋げる空間デザインを検討してもらいたい。